第13期　第8回地域部会・運営部会

日時　2022年11月16日（水）10：30～12：00

〇出席者
常盤野会長・ここりか服部氏・相談室きよサポ岡崎氏・竹本氏・相談室あゆみ岸井氏・菊地氏・ワンオール赤杉氏・ビビット南郷田中氏・主査佐藤氏・オブザーバー夢民戸田氏・事務局西町

〇欠席者
斎藤副会長・ラダーサポート宮西氏・社協柳氏・ピアデザイン稲垣氏

1.　報告・連絡事項
＊部会長より
要保護児童対策地域協議会からの案内内容を共有。

＊子ども部会より
今年度の研修は残り一回。2、3月を予定。（テーマ未定）
札幌市の子供部会では、3月に毎年一回実施する全体研修会を開催予定。（不登校か一時保護について）
強度行動障害や医療的ケア児を対応できる事業所が限られることに深刻的な声が増えてきている。また、ヤングケアラーの問題をどうサポートするのか、等。

＊就労部会より
1月27日に支援者向けの「集まる場」二回目を実施予定。今回からグループワークを取り入れる。

2.　協議事項
（1）定例会（物販）の開催に向けて
予定日　12月17日（土）　10：00－16：00　会場　やわらぎ斎条清田
・ブースの広さ確認、出店事業所数の検討
➡ラダーサポートが代表として場所を借りる。スペース180×60。3500円
福祉事業所として1ブースを借りるイメージ。（7事業所予定）
案内は、部会内でメーリングリスト共有（案内文の作成は宮西氏）
事業所からは1名ずつ代表を募りたい
案内文内容（出店料は案分）
募集期限：来週にメール発送、12月7日締め切り

（2）次回の定例会について

・今後の開催に向けて常盤野部会長より提案（別紙参照）

〇内容について意見交換

・支援過程での躓き、困難場面などから勉強できる事例検討会が望ましい

・定例会のようなサイズは難しいかもしれない

・構成員の方々が参加しやすい形を（ワーキングチームのような）

・最初から人数を絞り込むのも有り

・将来的に分野ごとに事例が出るような展開となった場合、分野ごとに分けて行うのも良い。

・基礎と中堅者向けの研修は、チームを別にして考えたい。

・そこで働く人たちの困り感、福祉の仕組み、障がいとは、など。

・相談は、初任者向けの研修を実践している。初任者のニーズも知りたいところ。

・直接的ニーズなどの声は出にくい。グループワークを繰り返す中で、ニーズが抽出されていくことが望ましく、期待したい。

・基礎的な学習がないまま、福祉の現場に配置されている現状はやはり多い。

・同じ研修内容でも、継続して開催することが大事。

・ワーキングチームには、会員も含め、共同で行う形にしていけると良い。

・圏域センターでは、10年ほど行っていた。障がい者の歴史、理念について三障がいの説明。当事者に登壇してもらい、こういった支援は良かったなどの話をしてもらった。昨年は基礎理解、障がいごとに支援をしていくことにポイントのビデオ配信。精神、発達の人に出てもらい、自分たちの支援の在り方を考えるための研修となった。オンラインにした際に参加者がさらに増えるも、8割型札幌の方の参加。ベテランでも、また参加したいという層もいるかもしれない。

・横のつながりと地域事情を知ることも大切。

・ある程度、企画、内容は決め、提供するところから始まるのでは。チームを二つに分け、機動力を向上させて行うことは良い。

➡二チームで構成という枠組みは、決定。

➡相談室きよサポが基礎講座、相談室あゆみが事例検討会をそれぞれ担当

3．その他

（1）告知・PR

（2）次月予定　12月21日（水）10：30～12：00場所＿＿＿4階A会議室＿＿＿＿＿

次回司会＿＿相談室きよサポ＿＿